

既存のテクノロジーだけでは解決が難しい課題に、 科学のチカラで挑戦する

メイダス HRサイエンス研究所では、2つの科学を武器に挑戦を続けています。

1つは、**人と組織の科学**です。早稲田大学で教壇にもたっていた神長伸幸が、研究所所長をつとめます。認知神経科学やスポーツ心理学を専門とするメンバーと共に、働く中でのスキルやコンピテンシーの新しいアセスメント開発に挑戦しています。次世代の人材採用をつくりだすために、眼球運動や心拍などの生体計測実験ができる研究環境も整備しています。

もう1つは、**データの科学**です。メイダスにはサービスから取得される膨大な転職市場のデータがあります。働くことにかかわる個人の属性データと心理学的なデータが対をなすサンプルが、万をゆうに超える規模になります。それらのデータをもとに、確率的プログラミング言語を駆使して、新しい推薦システムのカタチを考えながら進めています。「ガウス過程と機械学習」の著者でもある大羽成征がシニアリサーチャーとして参画しています。

メイダス HRサイエンス研究所は、**日本学術振興会の研究機関指定をうけており、次代を担う「学振特別研究員」の受け入れ、また、大学院生を夏季インターンシップで受け入れています。**

アカデミアでも活躍するメンバーが、企業研究だからこそできる新しい研究の道を模索しています。「人と組織の科学」と「データの科学」を融合させ、ビジネス実装を目指すユニークな研究所に参画してみませんか？



「ガウス過程と機械学習」の著者でもある大羽成征が在籍しています。

話を聞く



大学院生の**インターンシップ**への応募、学振特別研究員の相談などお話しできる機会をお待ちしています。

インターン



学振研究員

